

川崎小 PTA 活動を通して



CS通信 第7号



現在川崎小学校は、来年度コミュニティ・スクールを立ち上げようと、教頭先生がリードして、コミュニティ・スクール準備会が実施されています。コミュニティ・スクールを立ち上げ、より地域ともに川崎小をつかっていこうという思いの川崎小ですが、7月のPTA活動に、コミュニティ・スクールの目的と共通する活動がありましたので紹介します。(静岡新聞 8/22、中日新聞 8/23にも紹介されていたのでご存じの方も多いのではないかと思いますが…)

児童励ます千羽鶴 (川崎小 PTA)



川崎小 PTA は、新型コロナウイルスの感染拡大で生活が制限されている児童たちに、「私たちが子どもたちにできることはないか。」を話し合い、子どもたちへの激励を含め、そしてコロナ終息を願い、『その思いを含めた千羽鶴をつくって、子どもたちを励まそう』と計画。PTA 役員からの呼びかけに、保護者だけでなく、祖父母や地域の方も賛同し、鶴を折っては学校に持ってきてくださり、4,050 羽が集まりました。その鶴を、50 羽ごとにつなぎ合わせ、職員室前の壁一面に「千羽鶴タペストリー」として飾られました。そして、夏休み明け初日の 21 日に校内放送により贈呈式を開き、子どもたち

にお披露目しました。PTA 会長から、「我慢することの多い生活が続いているけれど、つらいことは、成長のためのチャンス！お父さん、お母さんはもちろん、おじいちゃんおばあちゃんも、そして地域の方々もいつも応援しています」と校内放送で語りかけました。児童会長から、「長い時間をかけて作ってありがとうございます。一人一人の力は小さくても、みんなの力を合わせると大きくなると感じました。たくさんの行事がなくなっていますが、10月の体育大会は、応援してくれているお父さん、お母さん、そして、祖父母、地域の方々に、全校が一丸となった姿が見せられるように、みんなでコロナに気を付けながら協力し合い頑張ります。」と感謝と決意が述べられました。



協力してくれた皆さん

川崎小学校のみなさんへ

このタペストリーは、コロナウィルス感染症に負けず、頑張っている皆さんを励ますために、保護者、地域の皆さんで作りました。

これからも「3密を防ぐための不便な生活」「暑さや寒さに耐えながらの感染症防止」など苦しいことは続きます。でも「ピンチはみんなの力と心を合わせるチャンス」です。

頑張る皆さんを応援している大人がたくさんいることを忘れないください。千羽鶴タペストリーと私たちは、がんばる皆さんをいつも見守り、励ましています。川崎小学校 PTA 総務



教頭先生から、「日に日に、持ってきてくれる千羽鶴が多くなり、先生方の意気が上がりました。」とききました。そうです、応援されるとやる気が高まります。学校と保護者、地域がつながり、そしてそのつながりが深まっていくことで、質の高い学校運営が行われると思います。その一方で地域の方が子どもたちに関わることで子供の成長とともに、大人の成長もうながされ、子どもを介して地域コミュニティが深まると思います。まさに、今回の活動は、願うコミュニティ・スクールの活動だと思っています。